

令和5年6月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和5年6月23日（金）13時00分～13時30分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>読売新聞、山形新聞、河北新報、NHK

<市>市長、秘書広報課長

4 記者クラブからの質問事項

（1）今年の最上川源流よねざわ紅花まつりの見所とまつりへの市長の思いをお聞かせください。最上川流域の栽培地と紅花文化を広くPRするための連携についてのお考えはありますか。

（2）その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和5年度6月の定例記者会見を開催いたします。記者クラブからいただいた事前の質問に回答させていただき、質疑に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

○市長

今回の御質問は1点ありました。

「今年の最上川源流よねざわ紅花まつりの見所とまつりへの市長の思いをお聞かせください。最上川流域の栽培地と紅花文化を広くPRするための連携についてのお考えはありますか。」という内容です。

今年で3回目となる「最上川源流よねざわ紅花まつり」は、四季のまつりの夏まつりの一つとして、昨年から7月1日～7月31日のロングランイベントとして開催しています。まつり期間中は、「紅花料理を楽しむ夕べ」や「紅花染め体験」など多様なイベントを開催するなか、紅花が咲き誇るメインイベント日（7月16日（日））には、山上地区をメイン会場に、紅花に関連する体験ブースほか賑わいある企画を展開していきます。

今年の見所としては、これまでの企画内容に加え、学生サークルや市民団体、市内企業の方々などの紅花畑オーナーによる紅花の活用方法を紹介するブースや紅花に関する探求学習や地域活動に取り組んでいる高校生や大学生による、日頃の活動紹介や取組で開発した紅花商品の販売ブース、そして今年131周年を迎えた米織組合が

開催する「米沢織きものグランプリ（7月7日（金）～7月9日（日）・市民ギャラリー）」と連携した紅花部門グランプリ作品はじめ米沢織製品展示など、地元住民や学生、民間企業も巻き込んだまつり内容になっており、多分野にわたった「オール米沢」での盛り上がりをさらに高めています。

また、7月5日（水）・6日（木）には神奈川県横浜市、7月10日（月）～7月13日（木）には東京都港区でも紅花に関するイベントを実施することで「米沢に咲く、紅花。」の魅力を幅広く発信し、本市で開催する紅花まつりへの観光誘客にもつなげていきます。

最上川流域の栽培地と紅花文化を広くPRするための連携について申し上げます。山形県及び構成8市町等で構成されている山形県紅花振興協議会（事務局：山形県農林水産部園芸大国推進課）では、「最上川流域の紅花システム」を次世代に継承していくため、自治体と関係団体等が連携し、新規生産者への技術指導や地域における紅花文化の伝承等の支援を行っています。また、国内外に積極的に情報発信し、紅花システムの認知度を高め、観光業や食品製造業と連携して、地域の活性化につなげていくことを目指しています。

自治体間においては、年に数回「構成市町会議」も開催され、お互いの取組などの紹介をしながら、構成市町同士の情報交換を行っています。本市においても、世界農業遺産の早期認定を目指し、歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」の魅力を官民が一体となり、他市町ともさらに連携しながら、県全体としての盛り上がりを図っていきたいと考えています。

私の思いとしましては、1日も早く世界農業遺産の認定をいただければと願っています。「最上紅花」が農業遺産に認定されることによって、構成市町との連携も新たな段階に入っていくことになると思います。市民一丸となって、米沢の紅花に関する取組をさらに推進していきたいという思いです。

事前にいただいた質問に対する回答は以上です。

○記者

市長として、紅花に関して個人的に取り組んでいることはありますか。

○市長

個人的に取り組んでいることはありませんが、紅花の栽培をポットで行っています。

○記者

イベント期間中に「ここはぜひ見てほしい・来てほしい」というところはあるか。

○市長

紅花がどのように咲いているのか、まだまだ知られていない部分もありますので、現地に来て実際に咲いているところを見てほしいです。また、世界農業遺産認定を目指していく中で、紅花染めの衣装制作など、実際に紅花を使って加工しているところも関心を持って見ていただければなと思います。

○記者

世界農業遺産認定に向けて、今後準備していきたいことなどを教えてください。

○市長

世界農業遺産認定を目指して、米沢市では「鷹山公と紅花」をイメージし、刺し子の制作など、これまでに様々な準備をしています。今後は、米沢織の制作物の展示会をナセBAで行う準備も進んでおり、紅花を使った食品（米粉、紅花エキス、紅花の若菜、こめ油を使った麺）の試食も先日行いました。栽培だけではなく、紅花を活用した製品づくりによって付加価値の高いものになっていくという取組も、今後地域おこしとして重要な課題になっていくのではないかと思います。こういった点でも、様々な準備をしながら、世界農業遺産認定を目指しているところです。米沢において「世界」や「遺産」と付くものは初めてなので、米沢の誇りになればという思いで、認定を待っています。

○記者

横浜と東京でPRイベントが行われます。そこに向けての期待を教えてください。

○市長

もともとは、啓翁桜の展示から、横浜市中区との交流が始まりました。この御縁をもって、昨年から横浜市役所と中区役所で紅花の展示をしています。これを機に、多くの人に紅花を見ていただければと思います。また、山形新幹線で紅花を運ぶ計画（3回目）も今後ありますので、こういった機会に地域活性化に結び付けていきたいと考えています。東京都港区については、港区役所の皆さんと置賜地域全体で広域交流をしています。2月に区役所の方が米沢にいらした際には、ぜひ港区にも紅花を植えてほしいとお願いしたところ快く引き受けてくださり、芝公園に紅花が植えられることになりました。このように、紅花を活用した交流が今後もできるといいと思います。

○記者

世界農業遺産認定を目指すこと、現地に来て紅花栽培の状況を見てほしいというお話がありました。そのために、必要な取組や課題を教えてください。

○市長

新幹線から紅花を見ることができるのは、この米沢エリアのみです。JRの協力で通過時に車中アナウンスをするなどの取組をしており、一步一步ですが広まりつつあります。そこにインパクトを与えるのが、世界農業遺産だと思いますので、食品から米織などの紅花の様々な商品が多く出回る環境を整備し、紅花の認識をまず市民の方へ広めることが課題であると考えています。このイベントが市民あがりのイベントとして皆さんに認識され、市外にまで発展していくことを願っています。

○記者

市内の紅花栽培地を網羅している紅花マップのようなものがあると良いと思いますが。

○市長

現時点では、紅花栽培を行っているのは山上地区のみです。ですが、今後その地域

のみでは栽培が追い付かなくなると思われますので、中心になっている生産者ともお話ししながら、隣接する南原地区・松川地区に広めていこうという動きで進めているところです。

○記者

その他について伺います。議会が改選されて、活発な質疑が行われているところですが、市長は、新しい議員の質問を聞いていて何か感じることはありますか。また、市長は、議会での学校給食共同調理場のやり取りについてどのような思いで聞いているか教えてください。建設予定地の災害対策についても、解決していないような印象があります。

○市長

今回、一般質問でも新人の方全てが登壇されました。私が1年目の時と比べて、とても勉強されていると感じたところです。学校給食共同調理場について今議会で議論になったのはPFI方式についてですが、議員の発言でありますので、私からのコメントは控えさせていただきます。先日の予算委員会で質問があった件については、教育委員会内部をはじめ、財政当局や関係部署ともしっかりと議論し、それぞれの担当が打合せしたものを市長が上程しているのので、私としては教育委員会の対応については了承しています。しかしながら、学校給食センターに問題があると考えている議員もいる中で、PFI方式など様々な議論が行われているものと認識しています。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和5年度6月の定例記者会見を終了いたします。